

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

議会事務局議事課

議会事務局長 小野田 靖

整理No.	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
32-004	議会情報関係事業	なし	B	会期日程に合わせた情報発信を滞りなく行うことができた。また、開かれた議会となるように編成されている「広報」「広聴」「交流企画」委員会において、市民への情報発信の強化等に必要課題に向き合い、改善を行った。特に、若い世代にも議会に関心を持ってもらえるよう高校生や大学生との意見交換会を年2回実施し、議会だよりの紙面構成に関する改善提案(暖色を使用する、QRコードの活用、写真の挿入、字体を大きくする等)を即実行し、読みたくなるような紙面づくりに努めた。	改善 推進	全議員が、広報、広聴、交流企画のいずれかの委員会に所属しているため、議会からの情報発信がより丁寧に実施されるように努めているが、議会報告会においては、より多世代の市民参加がされるよう、実施方法を見直す必要がある。また、ホームページの内容改善を行うことと併せて、新たな媒体(SNS等)を活用した議会からの情報発信を検討していく。
32-005	本会議運営事業	なし	A	市民に開かれた、身近な議会にするために、難聴者への対応としては、スピーカーを追加設置するなど、広く市民が傍聴できるよう環境整備を行った(令和元年度の本会議傍聴人数は177人)。改選期であったため、新人議員に、本会議についての研修を行ったり、議会運営について他市議会へ調査を実施するなど対応を充実させ、円滑な本会議運営に努めた。	改善 推進	開かれた議会を推進するため、ICT化を視野に入れ、傍聴者が増えるような取り組みや議会中継が行えるような取り組みを検討・実施していく。今後も職員の研修や、他自治体との情報交換、課題研究に努め、議会が柔軟で活発な議論が行える場となるよう、事務局として支援を行う。
32-006	委員会運営事業	なし	B	各委員会で積極的かつ活発的に委員会審査や委員会活動ができるよう、事務局として委員と執行部との連絡調整を行う等の支援に取り組んだ。閉会中の調査事項について、県内外で必要な視察を行うことで、見識を深め、調査研究に反映させることができた。また、調査事項について研鑽を積むため、政務活動費を活用して調査を行う議員に対しその支援も行った。	改善 推進	委員会審査や調査活動が適切かつ円滑に行われるように努める。今後も、政務活動費を活用して講師を招いた議員勉強会や視察を行う機会を増やし、各委員会において課題解決に向けた議論ができるよう努める。
課等長	1次評価(元年度の総括評価)					
A	本会議運営以外にも、議員各位をサポートする事務局として、適切な事務対応をすることができた。令和元年度は改選の時期であったことから、新人議員へのサポートを充実させた。また、各委員会の担当書記としては、当局との調整にとどまらず、委員会活動の情報発信の改善に係る視察のコーディネートや資料の作成等、委員会運営についてサポートすることができた。					
部等長	2次評価(元年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
A	円滑な議会運営を行うため、全事業において適時適切な事務対応に努めた。また、議員間での新しい取り組みにも色々とチャレンジをすることができた。今後も開かれた議会や議会の活性化・機能充実をさらに推進する為、制定した議会基本条例に基づき、円滑な議会運営に努める。 全国の自治体で様々な議会改革が取り組まれている中、本市議会での議会運営のICT化実現に向け、事例研究や条例等の正しい理解に努め、事務局職員の資質向上に努める。					